

おうらまち

議会だより



平成24年3月定例会

長柄幼稚園入園式

平成24年度予算可決(一般会計・各特別会計)

一般質問 【9人の議員が町の考えを問う】

神谷長平議員、坂井孝次議員、田部井健二議員、原 義裕議員
松村 潤議員、本間恵治議員、小島幸典議員、大野貞夫議員
小沢泰治議員

- 可決された議案…………… 3
- 予算質疑…………… 4
- 一般質問…………… 5～12
- わたしのふるさと等…………… 13～14

No 131

平成24年度一般会計予算

76億2,200万円の予算を可決 対前年度比1.0%増

3月定例会

平成24年第一回定例会が、3月6日から16日まで開かれました。平成24年度の一般会計予算や各特別会計予算等の議案が提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。



石打町営住宅完成予想図

平成24年度の予算規模は一般会計で76億2,200万円、前年度比1.0%の増額となりました。

歳入の増減額の大きなものは、法人町民税や固定資産税の減収が見込まれ、町税収入見込額は33億5,102万7千円(4.9%減)となりました。また、地方特例交付金も、子ども手当特例交付金及び自動車取得税特例交付金の廃止により、25.6%の減収を予想しています。

地方交付税は、主に固定資産税に係る基準税額の減少等の要因から、9億4,000万円(9.4%増)を見込みました。また、実質的な地方交付税である臨時財政対策債については、昨年度同様5億6,000万円を見込んでいます。

町債は9億7,280万円(26.5%増)ですが、その内58%は、臨時財政対策債が占めています。増加分の主なものは、石打町営住宅建設事業に係る公営住宅建設事業債2億1,980万円です。

繰入金については、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金及びふるさと振興基金から、3億5,791万8千円の繰り入れを計上しました。

歳出予算の大きな変動要素として、町営住宅建設事業4億3,646万2千円、町民体育館及び武道館の耐震補強・改修等事業費2億2,824万8千円を計上し、減額要素として学校給食センターの完成により学校給食事業特別会計繰出金が1億3,890万7千円となっています。

特徴的な歳出として、邑楽町公民館耐震補強等改修事業に約3,783万円、おうら中央公園北広場整備事業に1,870万円、長柄幼稚園改築のための設計業務に約1,395万円などがあります。

厳しい財政状況の中でも、企業誘致奨励金や中小工業者への制度融資事業等を

堅持し、地域経済の下支えを行う施策を実施していきます。平成24年度からは、住宅リフォーム補助制度を開始し、住民生活の質の向上と町内事業者の受注拡大に取り組みます。また、4月1日より、町税のコンビニエンスストア収納を開始します。

今後の景気回復については非常に不透明であり、国の国債依存度もすでに限界を超えており、今後はこれまでどおり地方への財政措置が確保できる保証はないと言わざるを得ません。当町の財政状況も、これまで以上に厳しくなることが予想されます。予算執行に当たり、より一層の事務事業の見直しや合理化を進め、事務執行に当たる職員の資質の向上を図ってまいります。

町民の皆様と議員各位の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。
(町長の施政方針抜粋)

可決された 議案

■ 邑楽町課設置条例の改正
土木課と都市計画課を統合し、都市建設課とするなどの改正をしました。

■ 邑楽町税条例の改正
地方税法の改正に伴い、平成26年度から平成35年度まで、個人町民税の均等割に500円加算した額とするなどの改正をしました。

■ 邑楽町公民館の設置及び管理に関する条例
■ 邑楽町立図書館の設置及び管理に関する条例の改正
■ 正 邑楽町町営住宅管理条例の改正
第2次地域主権改革一括法の成立に伴い、社会教育法、図書館法及び公営住宅法が改正されたことにより、関係する条例の改正をしました。

■ 邑楽町介護保険条例の改正
平成24年度から平成26年度までの3カ年の介護給付費及び地域支援事業費等の見込み額をもとに、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料改定を行いました。

■ 邑楽町農漁業災害対策特別措置条例の改正
近年の温暖化等の気象変動による災害の変化に対応するため、条例を改正しました。

■ 邑楽町小口資金融資促進条例の改正
群馬県小口資金融資促進制度要綱が改正されることに伴い、制度融資期間の3年延長が行えるよう条例の改正をしました。

■ 邑楽町議会委員会条例の改正
課設置条例の改正に伴い、産業福祉常任委員会の所管する課名を改正しました。

■ 邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例
4月1日から1年間、町長、副町長、教育長の給料を10%減額としました。なお、本案に対し修正動議が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

■ 人事案件
■ 人権擁護委員の推薦
法務大臣から、3年の任期で委嘱されている委員3名のうち、関根史代さん(鶴新田)が平成24年6月末に任期満了となることから、引き続き同氏を推薦することの意見を求められ、同意しました。

■ 副町長の選任
欠員となっていた副町長について、堀井 隆さん(赤堀)を選任することに同意しました。

■ 教育委員の任命
欠員となっていた教育委員について、遠藤みゆきさん(中野)を任命することに同意しました。

一口メモ
人権擁護委員ってなに？
人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをします。また、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者を救済したり、地域の皆さんが人権について関心を持つてもらえるような啓発活動を行っています。



■平成24年度当初予算額

会計別	本年度予算額	前年度予算額	対前年増減率	
一般会計	76億2,200万円	75億4,600万円	1.0%増	
国民健康保険特別会計	28億6,980万円	27億6,910万円	3.6%増	
後期高齢者医療特別会計	2億1,124万円	1億8,506万円	14.1%増	
介護保険特別会計	16億4,989万円	15億3,588万円	7.4%増	
下水道事業特別会計	2億9,573万円	3億4,387万円	14.0%減	
学校給食事業特別会計	2億7,470万円	7億2,414万円	62.1%減	
水道事業	収益的支出	5億1,397万円	5億1,068万円	0.6%増
	資本的支出	2億0,021万円	2億3,381万円	14.4%減

■平成23年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額	
一般会計	83億5,416万円	1億3,594万円	84億9,010万円	
国民健康保険特別会計	29億8,358万円	7,647万円	30億6,005万円	
後期高齢者医療特別会計	1億8,892万円	△715万円	1億8,177万円	
介護保険特別会計	15億8,233万円	737万円	15億8,970万円	
下水道事業特別会計	3億5,875万円	△514万円	3億5,361万円	
学校給食事業特別会計	7億2,003万円	△3,961万円	6億8,042万円	
水道事業	収益的支出	5億1,068万円	△88万円	5億0,980万円
	資本的支出	2億3,381万円	26万円	2億3,407万円

予算質疑

Q&A

新年度予算質疑（要旨）
 新年度予算について、活発な質疑が行われました。
 以下は、抽出した項目の要旨です。

Q 本間恵治議員 平成24年度予算は前年度比1%増となっているが、税収は滞納額も多く法人町民税も減収となっている。歳入見込みは大丈夫か。

A 町長 経済を取り巻く環境が厳しいことから、過去の実績や前年度実績を勘案し推計した。

Q 原 義裕議員 旧庁舎跡地の全体的な利用に関する考え方は。

A 町長 以前は学校の施設として使用されていたので、その辺も含めて十分討議し、進めていきたい。また、中心地でもあるので、利用については慎重に考えていきたい。

Q 神谷長平議員 町長の議会に対する対応が非常にまずい。社会教育施設の整備については、一切話を聞かない。今後、新事業を起こす時は、全員協議会

に諮り、議員の意見も参考にしていたきたい。

A 町長 今後は十分気をつけ、対応していく。

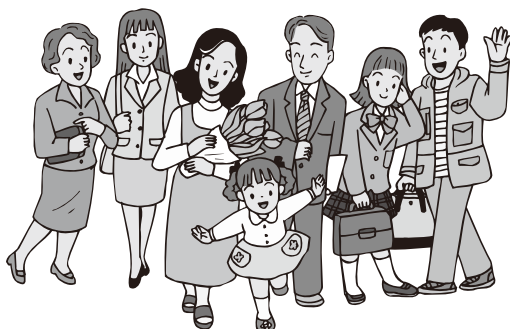
Q 小島幸典議員 社会教育施設建設準備のための予算が、6万8000円計上してあるが、委員は無償でやるべきである。開催時間も夜にする等の配慮を。

A 生涯学習課長 予算は、資料の作成や視察時の燃料代としての計上である。委員の報酬は無報酬である。

Q 大野貞夫議員 3年に一度の介護保険料の見直しがあり、低所得高齢者から悲鳴があがっている。

A 町長 介護認定者の増に伴い、介護サービス利用が増えている。高齢化率も21%になり、今後増えていく。介護予防が必要で、健康な方を増やす計画が必要。

Q 小沢泰治議員 国保税



一般質問

一般質問は、3月7日及び8日に行われました。質問には、9人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

町の活性化について

神谷長平議員 我が国の経済は、東日本大震災や円高の進行、欧州政府の債務危機に伴う政治経済の停滞によって雇用情勢も依然として厳しい状況が続いている。このように経済状況が良くない時期には、町独自で融資制度の見直しや町内の中小企業者への支援を行うべきと思っているが、どのような考えを持っているのか。

町長 中小企業者へ町独自の融資制度を行っている。具体的には設備資金1500万円、運転資金500万円を限度として、融資を

行っている。

神谷長平議員 町の融資制度には、中小企業振興資金と小口資金、特別小口資金や小企業者緊急経営資金融資制度等がある。中小企業振興資金は、融資限度額500万円、融資期間6年以内、これらには据置期間が設けられていない。こういう時代なので中小企業者の支援のため、運転資金の据え置き、または返済期間の延長の考えはあるのか。

町長 据置期間を延ばすことによって、町の予算措置

が必要となる。この大変厳しい経済状況と中小企業の皆さんの経営状況を考えたときには、質問の趣旨は十分理解できる。据置期間の設定、それに加えて返済期間の延長も十分関係する機関との協議を踏まえた上で前向きに考えていきたい。

神谷長平議員 町を元気にするのは、地元の企業者の皆さんがあつてこそ元気になる。「前向き」と言わず、即答で「6月の定例会に改正案を上げていきたい」とそんな意気込みを聞ければと思うが。

関係機関と協議

町長 県、あるいは関係機関と協議し、その協議内容を見極めた上で、早急に改正ができるものであればやっていきたい。

町の知名度向上の方策について

坂井孝次議員 日本はどこへ行っても少子高齢化、財政問題を抱えている。それを抜け出すために、たくさんの新しい挑戦が行われている。群馬県では「群馬デザイン」が行われた。それによって群馬県の知名度は全国で29位に、経済効果は当初予測40億円の2倍、80億円とキャンペーンの効果が実証された。邑楽町の知名度をあげる活動はどんなものがあるか。

坂井孝次議員 キャラクターとして使えそうな素材はあるか。

企画課長 町として白鳥とタワーと平地林のキャラクター、ロゴマークを昨年8月に定めた。現在、取り扱いたい要綱を決めているところである。

坂井孝次議員 現在、キャラクター、ロゴマークは4種類ある。町として一つにまとめる考えはないか。

企画課長 白鳥をモチーフにしたポスターを配布している。第2弾も予定中。

企画課長 利用する団体等の意図もあるので、調整しながら統一を図りたい。

坂井孝次議員 町の知名度を上げるためのキャラクターを考えてはどうか。

坂井孝次議員 執行部の回答は、いつまでというのがなかなか聞けない。半年くらいでできないか。

企画課長 活性化や知名度アップのためにキャラクター、ロゴマークを利用したいと考えている。

企画課長 関係団体との意思統一が必要になる。できるだけ早くということをお願いしたい。



町のロゴマーク「翼くんと未来ちゃん」

坂井孝次議員 キャラクター、ロゴマークを町の書類・封筒・名刺に使うこと
によって、町の知名度はあがる。例えば米・野菜などの農産物につけると産地の知名度はあがり、販売増も期待できる。町の財政が非常に厳しい時だからこそ、町としてお金を作り出す方策を考えなくてはならない。2年間は町として、ロゴマークをつける商品には、経済支援をしてはどうか。2年が経過し、商品が売れ、

知名度が上がれば、マークの使用料をいただける可能性もある。
町長 現時点の要綱の中では使用料はいただかないことになっているが、今後調整することも必要と思う。

坂井孝次議員 銀座に群馬

県のサテライトショップがある。そこで生産者と行政が一緒になって、展示販売することも支援の一環だ。おもしろい町になると確信するが、どのように思うか。

協働の町づくりを
推進

町長 厳しい財政の中、お金を使うということだけでなく、それぞれの立場の

方々に知恵を出していただいて、互いに進めていくことは大切なことだと思う。町民の皆さんと力を合わせて、協働の町づくりを推進していきたい。これからもそういった形で進めていきたい。

町スポーツ少年団の
充実について

田部井健二議員 今、邑楽

町にはスポーツ少年団員の人数が392名、活動団体は15団体ある。大変多くの子ども達が頑張っている。この15団体の各チームに年に一度でも、教育長自ら足を運んでいただき、子ども達のそばに行き、子ども達に直に声をかけ、激励の言葉をかけていただきたい。可能なのか難しいか。

4月から、それぞれ少年団の実態や様子、そして考え方を聞かせていただきたい。また、保護者の悩みや現状などを時間の許す限りその場に出向いて、話を聞きたいと考えている。

教育長 子どもの頃からス

ポーツに親しむことにより、体力・健康・心などが健全に育つと思う。スポーツ少年団の役割は、大変大きいと考えている。そこでこの

田部井健二議員 ありがたい。月に2団体くらい廻っていたら、年内には一通り廻れる。教育長自ら足を運んで子ども達を褒めていただきたい。褒められて喜ばない子どもは一人もいない。「今みんなが頑張っていることは、非常に良いことである。つらくて

現場に足を運び
直に話を

も頑張り抜いて欲しい」と。スポーツ少年団に関わる指導者は、全てボランティアである。そこで教育長にもう一点お願いをしたい。教育長が主催者となって、年に一度、各少年団の指導者・監督・コーチ、また、父兄会の代表者、こういう人達を一堂に会して、各団体を抱えている悩みや課題を聞いて欲しい。そういう場所をぜひとも教育長につくっていただきたい。

教育長 現場に足を運び、子ども達、そして保護者や指導者の方たちと直に話を交わすのはもちろん、改めていろいろ心を割って、話のできる場を関係者と相談しながらやっていきたいと考えている。

その他の一般質問

・町長の政治姿勢について



スポーツ少年団交流会での長縄跳び競技

施政方針について

原 義裕議員 世界経済や社会事情の変化、国内事業の停滞等があり、税収入の落ち込みによる歳入歳出の数字は変わっているが、基

本的な文面が平成21年度から変わっていない。施政方針は、年度ごとの目標であり、結果を生み出す指針ではないか。町長の考える

「町民との協働の町づくり」の原点ではないか。
町長 施政方針は、年度における事業執行の考え方を述べている。国の情勢を受け、町の現況を踏まえての事業執行の方針を決め、町政の運営をしている。予算編成を行い、議会で審議され、執行している。今後は、町民の意見を聞く機会を多くして、反映させていく。

原 義裕議員 私の言いたいことは、町長の自信のある、ぶれない考え方や訴えが欲しい。町長の思いが聞こえてこない。私が議員を志した理由は「町に住みやすく、住んでいて良かったな」と言える町にしたいとの思いだった。納得してもらえない数字、理解してもらえない使い道が町民の皆さんに支持され、町民が参加できる行政運営をと考える。

町長 施政方針は、その年の事務事業の執行にあたる予算編成である。行政の継続性が妥当であるか、議会で審議されるものだ。文章的に私の思いが伝わって

ないようだが、予算の事業執行は協議と審議をお願いするもので、皆さんの意見の吸い上げに努力する。

原 義裕議員 私の言いたいのは、施策・概要についても、毎年毎年同じ文面だ。都市計画においては「鞍掛第3工業団地への企業誘致については、今後とも県と連携して、誘致促進に努めます」とあるが、これは1年間でもやるものではない。町の動きが見えてこない。町民に理解していただく努力をしていない。今までの邑楽町は、他市町村での評判が良くない。町長の所信表明で、考え方や公約を明確に責任もって知らせて欲しい。実情を発信して、現実の理解を求めることが必要だ。

原 義裕議員 行政運営はいろいろな手続きがあり、非常に時間がかかる。しかし、やらなければならぬ。言いたいことは、前向きな発信で活気ある町づくりだ。インターネットを利用して、施政方針や町のPRをする気持ちがあるか。

町長 情報通信の利用については、一番早い伝達方法と認識している。町でもホームページを作り、活用している。今後も引き続き進めていく。

原 義裕議員 行政運営はいろいろな手続きがあり、非常に時間がかかる。しかし、やらなければならぬ。言いたいことは、前向きな発信で活気ある町づくりだ。インターネットを利用して、施政方針や町のPRをする気持ちがあるか。

町長 情報通信の利用については、一番早い伝達方法と認識している。町でもホームページを作り、活用している。今後も引き続き進めていく。

原 義裕議員 行政運営はいろいろな手続きがあり、非常に時間がかかる。しかし、やらなければならぬ。言いたいことは、前向きな発信で活気ある町づくりだ。インターネットを利用して、施政方針や町のPRをする気持ちがあるか。

町長 情報通信の利用については、一番早い伝達方法と認識している。町でもホームページを作り、活用している。今後も引き続き進めていく。

原 義裕議員 行政運営はいろいろな手続きがあり、非常に時間がかかる。しかし、やらなければならぬ。言いたいことは、前向きな発信で活気ある町づくりだ。インターネットを利用して、施政方針や町のPRをする気持ちがあるか。

町長 情報通信の利用については、一番早い伝達方法と認識している。町でもホームページを作り、活用している。今後も引き続き進めていく。

皆さんの意見を聞きたい

その他の一般質問
・ごみのポイ捨てと犬のふん害について

介護保険について

松村 潤議員 現在、寝たきりで1年以上在宅生活をしている高齢者の介護者を対象に、その労をねぎらうために慰労金が8万円支給されている。平成23年度実績では、介護度4及び5の方を合わせて38人に支給されている。これらの方は日常生活で、着替え・食事・排せつ等人の手を借りなければ何もできない。介護する方の負担や心労は、大変大きなものがある。国の定めによると、介護度4の方の介護サービス支給限度額は、1カ月30万6000円、

介護度5の方では35万8300円である。施設に入所した場合、標準的な計算で介護度4の方は1年間で約330万円、介護度5の方は約400万円の費用がかかる。この費用はすべて介護保険から支払われる。このような金額から見ると、大変な思いをしている在宅

介護者への介護慰労金が、1年間に8万円では安いのではないか。もっと上げるべきだと考えるが。

町長 確かに1人当たりにかかる施設での費用からみれば、低額な中で介護をされている。大変な思いをされていることは、そのとおりである。私もすぐに上げたいという気持ちではあるが、町の財政の問題もあるので、県にもっと在宅介護も充実して欲しいと具申していきたい。

松村 潤議員 弱い立場の人のために、しっかりと手を差し伸べていくのが行政である。一日も早く体制をつくっていただきたい。今の国のほうでは、施設から在宅介護への移行を促している。町のアンケート調査の結果をみると、介護が必要になった場合、どうしたらいいかという設問では、「家

族などを中心に、自宅で介護して欲しい」が12・9%。「介護保険・保健福祉サービスを活用し、自宅で生活したい」が40・1%。合わせて53%の人が、今後の介護への希望が、自宅で生活したいとの回答だ。在宅福祉が介護保険の手段の一つであるならば、やはり在宅で面倒を見ている方の慰労金が8万円では安すぎる。年12万円に上げていただきたい。

本間恵治議員 補正予算の持つ意味は。

町長 補正予算を組まないような形での総計予算主義を貫きたいが、状況によってどうしても組まなければ事業ができないという場合に限って、お願いする性格のものだと理解している。

本間恵治議員 補正予算で新規事業を行うことについて

十分精査し
できるよう努力

町長 在宅での介護者が増えることによって、施設での介護サービスを利用する方が減ることを考えれば、十分理解できる。年額12万円はさほど多い数字にはならない。したがって、この部分については十分精査し、担当とも協議して、できるように努力していく。

行財政運営について

ての考えは。

補正での
新規事業は慎む

町長 新規に事業を起こすことについて、補正で対応することは慎まなければならない。

本間恵治議員 補正で強制執行のための予算を取った。いろいろなところで道路を拡張するため、皆さんに大変な思いをしながら協力してもらい、すべての道路が広がってきた。19号線にだけは強制執行の対応をとらざるを得なかった事実があるが。

町長 地権者と十分協議を重ねた上で、19号線の供用開始に向けて努力をしていきたい。

本間恵治議員 基金という言葉について、どのような考えを持っているか。

町長 財政を調整する基金と、目的を持った基金がある。有効活用に財政面から行っていく貯金と持っている。

本間恵治議員 9000万円の財政調整基金の取り崩しは、いけないと思う。税金に見合った歳出、使い方を考えるのが当然だと思いが。

町長 財政調整基金ほか積み立ててある基金について、

単純にお金がなくなつて不足しているから取り崩しをするとの考えはない。税の不足が大きな面であり、税の執行と同じ考え方である。

本間恵治議員 町長の給与の問題等についての考えは。

町長 真摯に受けとめて、これから努めていきたいと思つている。

本間恵治議員 板倉町は町長が30%、副町長・教育長が20%、明和町も町長が20%、副町長14・9%、教育長9・8%。千代田町は前町長のときに条例改正を

行い、給与・ボーナス・退職金は、町長が30%、副町長15%、教育長10%カットとそういう現状があるが、副町長は不在である。館林市も市長20%、副市長16%、教育長12%カットとこういう現状があるが、町長の考えは。

町長 他市町の三役についての減額割合が示されたが、それぞれの町での事情もあるだろうと思う。それが妥当であるか否かについては、それぞれの市町での執行者の考え方であると思つており、それはそれで尊重されていると思つている。

震災がれき廃棄物処理の 早期支援について

小島幸典議員 群馬県が東

京都のがれき処理見学に行った。安全のことを考えたら、全然問題がないことを見学してきた。そういうことを考えて、町長は早急に県の専門家を呼んで、他町の首長にも話し、町で説

明をしていただきたい。

町長 震災がれきの処理については応援したいが、今後、組合議会なり清掃センターの状況を十分考え、安全性の確保を優先させる。県の指導・助言があれば考

小島幸典議員 町長は安全性の話をしたが、上毛新聞にも載つたように、県職員34人が東京都を研修し、何の問題もないと理解している。岩手県・宮城県のがれ

きは搬送時に検査し、また受け入れ時も検査している。東京都で働いている人も普通の作業着で働いており、防護服も使わず通常処理し、処理後も測定をして安全を確かめている。ベクレルとシーベルトの言葉の意味を町長もわかっていると思うが説明したい。ベクレルは物質そのものが出す放射線の量で、食べ物の表示、物質が中心の考え方、物質の量とも考える。シーベルトは人間が浴びる放射線の量で、太陽の光からも浴びている。人間中心の考え方で、ベクレルは物から出る放射線で、10mのところでは測つたら1時間どの位で、20mのところでは測つたらどの位だと。例えば10mで1・0ミリシーベルトだったと。20mは0・5ミリシーベルトだと。簡単な話が、ストンプであたっている炎の温か

さに似ており、近くであたれば温かく、遠く離れば寒い。距離的な考え方がベクレルという。ブラジルのガラパリなど鉱石がある国では、年間10ミリシーベルト位浴びている。日本・ニューヨーク間の航空機での移動では、0・2ミリシーベルトであり、医者に行き

6・9ミリシーベルトである。人間への害については、100ミリシーベルトより少なければ害がないと言われている。宮城県や岩手県のがれきは問題ないと、東京都は早急に実施している。町長はリーダーシップをとって、早急に論理的な説明を町民にして、進めて欲しい。

町長 2月17日に大泉町外二町の清掃センターで、執



岩手県の震災がれき

行部と組合議会の合同会議が開かれ、いろいろ受け入れについての議論があった。これから県の説明を十分精査した中で、3町及び組合の事務レベルで調査研究し、その後の問題は副管理者の立場でもあるが、3町での構成であり、安全性の問題が前提になる。

小島幸典議員 政治の世界ではトップリーダーが身を切って、町民に体あたりで説明すべきだ。

大野貞夫議員 邑楽町における生涯学習活動のあり方について、どのような考え方を持っているか。
町長 子どもからお年寄りまで各々の意思に基づいて、自発的に学習して、自らを高めていく。そして、その学習が地域づくりに役立っているような状況が作り出されていくことが、大き

がれきの受け入れは慎重に

町長 がれきの受け入れは、慎重のうえにも慎重を期して対処していくべきだとこの考え方である。

その他の一般質問
・中野小学校プール移設について
・町長の政治姿勢と理念について

町の生涯学習活動のあり方について

なねらいと認識している。

大野貞夫議員 協働の町づくり、正に地域づくりと思う。邑楽町はその点、文化活動は積極的に行われている。今後、これからの育成・支援については。

町長 文化活動については、現在、文化協会を中心とした既存の文化団体への育

成・支援、また、公民館の主催事業等の支援が柱になっている。

大野貞夫議員 文化協会の一つに「音楽連盟」がある。さる3月3日、連盟主催による「邑楽町吹奏楽とコーラスの集い」があった。4年前から参加していた「よつていがつせ合唱団」ところが今回、突然参加が削られていたと、関係者からの文章が私の手元に寄せられた。読み上げるので聞いていただきたい。「何で今回外されたのか。それも何の理由もなく、何の話もなく、外されたのは、他に何かあるのか。聞いたら『よつていがつせ』だけということ。私たちは歌声合唱の成果を多くの皆さんに聞いていただきたいと願って、この一年間勉強し、歌い続けてきた。健康のためだけにない。高齢者だから、参加資格がないというのか。『七夕の音楽集会』には招待します。なぜ招待なのか。今までは『参加してください』ということでした。2



スポーツと私

休憩室

REST ROOM



中根 敏夫
(十三坊塚・6区)

東京に生まれ育ち、邑楽町に住んで36年が経過、快適な毎日を過ごしています。私とスポーツの付き合いは、小中学校ではテニスと陸上競技に明け暮れ、学校から帰るとテニスに没頭の毎日。そんな生活が大学まで続き、卒業を機会にYMCA体育学校で今度は水泳漬けの毎日。仕事が終わると皇居一周マラソンに始まり、一時間の水泳で終了の毎日。

昭和51年に仕事の関係で大泉町に転居し、トライアスロンに挑戦、輝かしい栄光にはほど遠く、やせて貧相になるだけ。そんな時スキューバダイビングに出会い、年間3回の外国行脚。職住近接を最大の味方に、スポーツ三昧の毎日が続き、今でも近所の運動施設で土日は水泳で楽しんでます。

最近では年齢と共に健康が目的になり、快適なスポーツと友達作りの良い場所とさめ、本年70歳の生活も今までの半分の動きで、これからも続くよう願っています。

00円の券売りもしてきた。合唱団には、指導者も伴奏者も揃って活動している。

町長は先日町新年会の席で、今年高齢者の在宅活動に力を入れていきたいと話していたが、音楽連盟の思いは町の考え方・進め方とは違うのかなと心配になる。『よつていがつせ』の高齢者の在宅活動を見ていただきたい。生き生き伸び伸び、元気で積極的に生活している『邑楽町吹奏楽とコーラスの集い』という中に、邑楽町が入ることで町と関わっているとすれば、私たちも高齢者の生活をより豊かにと願って、これからも活動していきたい。『よつていがつせ』は町の委託事業になっている。」

こういう文章である。これらを聞いて、どんな感想を持ったか。

**主催者は
十分な配慮を**

町長 率直に私の気持ちとしては、そのようなことがあったことについて、大変残念なことであったと感じたところである。音楽連盟が主催者とはいえ、やはり今まで参加をしていた経緯を考えれば、十分な配慮をすべきではなかったかなと思う。

その他の一般質問
・障害者福祉について

厳しい経済情勢下 どのように町政運営するか

小沢泰治議員 1990年にバブルがはじけ、それから20数年が経つ中、首長という重職・重責を担ったわ

けだが、減り続ける町税の増収を図るために、町長はどのようなことを考えているのか。

町長 内外とも大変厳しい環境の中での増収を図ることには、厳しいものがある。具体的に増収までいくかどうかは別にして、十分意を配しながら努力していきたい。

小沢泰治議員 町長は増収のために頑張ることだが、町長自ら心に考えていることを聞きたい。

町長 税収見込みが少ないということを考えれば、歳入の部分については十分慎重に対応し、運営しなければと思う。

小沢泰治議員 一期目は、本当にでたらめの公約で町民をだまし当選できた。二期目については、長期計画云々だけ言っている。しかし、人任せではなく、町長自らが何を念頭に置き、今邑楽町をリードしていくか、リーダーとして引張っていくか、具体的に何を考え、どのような施策があるか聞きたい。

町長 農業者戸別所得補償、畜産農家への補助の増額に



夢を追いかけて

休憩室

REST ROOM



茂木 いく子
(鶺下・13区)

夢は心の支え、力なり。ある夢を持ち続け、かれこれ半世紀になります。若い頃神社・仏閣に関心があるとは言えませんでしたね。近頃では若い女性の仏像めぐりがブームで寺ガール、歴女と云う言葉も耳にします。私も何度か奈良へ旅をしました。「いにしへの奈良の都」やっぱり惹かれてしまいます。そして万葉人に会いたい。住んだ事もない、初めての場所なのに妙に懐かしく不思議な気持ちになるのです。

私の心の原風景は、祖母と育った環境にあると思います。幼き頃の遊び場が町の重要文化財「筑波山古墳」と知り、驚きと感動でした。ますます夢は広がるばかり、まだ入口にすぎませんがどれ位の万葉人に会えるか、思いときめいています。

わが町邑楽にも、松本古墳群をはじめ多くの遺跡があり、足を運びたいと思います。4月は出会いの季節ですね。楽しみます。

よる応援、商工業者の制度融資利用への助成継続によって、引き続き健全な経済体質が見込まれる。

小沢泰治議員 ただいまの

答弁は、国から下がってきたものばかりで、課長補佐で十分に間に合う仕事だと思ふ。これから、邑楽町をどのように引つ張っていくか、新たな邑楽町の税収増を図り、町民福祉の向上を図るために何が必要か、どう考えているか聞きたい。

町長 制度を充実することによって、低迷する経済状況が前進すると思ふ。

小沢泰治議員 すばらしい地勢・地域・環境がある中、新規企業、起業の応援、また、そのような気持ちが生きてくるような町の体質・体制・環境をつくるのが、町長の仕事だと思ふが、

自ら事業展開に応じて
進んで実行

町長 環境整備については、

施政方針の实行によって整備が図られる。トップセールスについては、自ら事業展開に応じて進んで実行する。

小沢泰治議員 これまで長

年にわたり、各町長とも、給与の10%カットを实行してきた。町長は、町民をだました退職金0円問題があつたため、給与50%カットとなつた。町長は、他市町の首長が20%、30%カットしているのにカット0%、規定通りの71万8000円を自らいただくことを考えた。なぜ、そうなつたか聞きたい。

町長 一つには、条例で決められている。一つ目は、選挙において選任を受けたこと。三つ目は、他市町との金額的バランス等も考慮した。

その他の一般質問
・ 社会教育で児童期に理科系の体験学習を

自治功労者表彰

全国町村議会議長会より本間恵治議員が、群馬県町村議会議長会より立沢稔夫議長が、永年勤続による自治功労者表彰を受けました。

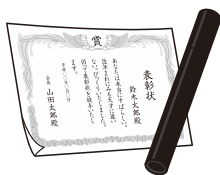
今後とも町発展のため、一層のご活躍を期待します。



全国町村議会議長会表彰
本間恵治議員



群馬県町村議会議長会表彰
立沢稔夫議長



議会を傍聴しましょう

次の議会は、6月11日から15日を予定しています。

(開会は原則、午前10時)

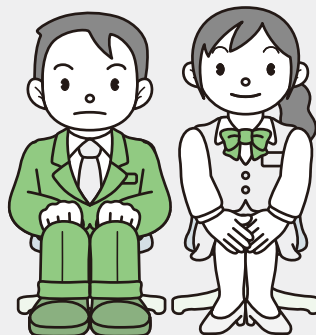
住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで ☎88-5511 (内線300)



議会の動き

2月

- 6日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 10日 産業福祉常任委員会、全員協議会
- 14日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会
- 17日 大泉町外二町環境衛生施設組合執行部・議会合同協議会
- 22日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 23日 議会運営委員会、総務教育常任委員会
- 24日 産業福祉常任委員会、全員協議会
- 27日 東毛広域市町村圏振興整備組合全員協議会
- 28日 西邑楽土地開発公社邑楽町事業所審議委員会

3月

- 1日 群馬県町村議会議長会群馬県知事との懇談会
- 6日～16日 定例会
(本会議、議会運営委員会、全員協議会、各常任委員会、広報委員会)
- 13日 中学校卒業式
- 21日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会
西邑楽土地開発公社理事会
- 22日 幼稚園修了式、太田市外三町広域清掃組合議会
- 23日 小学校卒業式
- 24日 保育園卒園式
- 26日 東毛広域市町村圏振興整備組合議会
邑楽郡町村議会議長会定期総会
- 27日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会
- 29日 広報委員会編集会議

4月

- 5日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 6日 保育園入園式
- 9日 小・中学校入学式
- 10日 幼稚園入園式
- 12日 広報委員会校正会議
- 16日 大泉町外二町環境衛生施設組合全員協議会・臨時会
- 18日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
全員協議会

意見書

医療費助成制度の現物給付に伴う国庫負担金減額措置の廃止を求める意見書

議員提案の意見書1件を可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。

現在、経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう、子ども、重度心身障害者、母子世帯等の医療費の自己負担分を補助する医療費助成制度が、全国

の地方自治体で実施されている。特に群馬県においては、平成21年10月以降、県と市町村とが連携して中学卒業までの子どもの医療費無料化を全国に先駆けて実現しており、少子化対策や子育て環境の充実に大きな役割を果たしている。

しかしながら、国はこのような単独の医療費助成制度の現物給付が「安易な受診の助長につながる」との理由から、現物給付を導入している自治体に対し、ペナルティーとして国民健康保険の国庫負担金減額措置を講じている現状であり、このことは、国が本来果たすべきセーフティネットを担う地方自治体の努力や独自性を阻害するものである。

よって、国においては、地方単独の医療費助成制度の重要性や必要性に鑑み、医療費助成制度の現物給付の実施に伴う国庫負担金減額措置を直ちに廃止するよう強く要望する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。



わたしのふるさと



【ニュージーランド パーマストン・ノース】

ジャビッド・ターリック
(谷中蛭沼・11区)



パーマストン・ノースの街並

私の故郷は、日本から南へ約8,700km、オーストラリアの東にあるニュージーランドのパーマストン・ノースという町です。

ニュージーランドは、北島と南島の二つの主要な島と多くの小さな島々で構成されていて、首都は北島にあるウエリントンです。人口は、約420万人で、農業や酪農が盛んです。また、年間240万人以上の旅行者が訪れる観光立国です。

パーマストン・ノースは、ウエリントンから車で2時間北へ行つたところにあります。人口は約8万人です。パーマストン・ノースには、とても透明度の高いシャングリバーという川や、町が一望できるポキタブという山があり、緑に囲まれた美しい町です。

町の中心には、たくさんの公園もあり空気がきれいなのが印象に残ります。また、首都からも近いこともあり、多くの学校が留学生を受け入れており、私が通っていたメッシー大学には日本人留学生もいました。

ニュージーランドへ旅行する機会がありましたら、ぜひパーマストン・ノースにも足を運んでください。きっと豊かな自然に出会えると思います

編集 後記

鯉のぼりが泳ぎ、新緑の若葉が輝く季節がやってきました。

3月の議会は、予算質疑が活発に行われました。平成24年度の予算が成立し、町長・副町長・教育長をはじめとする新体制も整いました。邑楽町の発展のために、更に尽力されることを願います。

私は、この春、卒業式や入学式に出席させていただきました。子ども達の瞳の輝きや力強い歌声、立派な態度を観て胸が熱くなり、希望と勇気を得ました。これからもっと成長し、日本の将来を担っていく若者になるだろうと思いましたが、新しい旅立ちの皆さん、おめでとございます。

議会だよりは「より正確に分かりやすく」をモットーにして、お伝えしていきたいと思えます。

傍聴にもどうぞおいでください。「協働の町づくり」に参画していただきたく思います。

(塩井記)